

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年9月10日発行

2026.8.31 ~ 2026.9.6 - 第36週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					宮 城 県 (含む仙台市)	
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼	患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症*1	412 82.40	422 42.20	452 90.40	483 96.60	1,707 37.25	1,707 65.65
	インフルエンザ*2	20 4.00	29 2.90	27 5.40	55 11.00	151 3.00	151 5.81
	新型コロナウイルス感染症*2	11 2.20	19 1.90	27 5.40	9 1.80	24 6.00	39 1.50
小児科定点	RSウイルス感染症*2	11 5.50	2 0.33	1 0.33	4 1.33	4 2.00	4 0.27
	咽頭結膜熱*2		2 0.33			4 0.27	6 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*2	7 3.50	9 1.50	5 1.67	6 2.00	29 1.93	56 1.81
	感染性胃腸炎	3 1.50	4 0.67	2 0.67	4 1.33	7 3.50	34 2.27
	水痘	2 1.00				2 0.13	4 0.13
	手足口病	24 12.00	25 4.17	19 6.33	6 2.00	2 1.00	54 3.60
	伝染性紅斑					3 0.20	3 0.10
	突発性発しん		1 0.17	1 0.33		2 0.13	4 0.13
	ヘルパンギーナ*2	1 0.50	3 0.50	14 4.67	3 1.00	3 1.50	24 1.60
	流行性耳下腺炎					1 0.07	1 0.03
	急性出血性結膜炎				1 1.00		1 0.08
眼科定点	流行性角結膜炎		2 2.00			3 0.50	5 0.42
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)						0 3
基幹定点	クラミア肺炎(オウム病は除く)						0 0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						0 7
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00	3 1.00	6 0.60
	無菌性髄膜炎						0 3
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	2	2	1	2	
	川崎病				1		
	不明発疹症					1	

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。
*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 16例(前週比較: +12例)
新型コロナウイルス感染症: 7例(前週比較: +5例)
* 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)より
石巻管内 第36週採取分 SFTSウイルス 1件

感染性胃腸炎患者より
気仙沼管内第36週採取分 ノロウイルスGⅡ群 5件

急性呼吸器感染症患者より
第36週採取分(7検体)
RSウイルスサブグループA 1件、エンテロウイルス属 1件、陰性 5件
※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

◇宮城県内の急性呼吸器感染症病原体サーベイランス(仙台市を含む)は
こちらをご覧ください(https://www.pref.miyagi.jp/documents/1950/myg_ari.pdf)

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

県内の定点当たりの患者報告数は前週の2.44人から5.35人に増加し、石巻管内では、令和6年度まで運用していた注意報発表基準値の10人を上回りました。また、インフルエンザによる入院患者報告は前週の4例を大きく上回る16例の報告がありました。今後も感染拡大が予想されますので、咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

県内の定点当たりの患者報告数は前週の0.84人から2.35人へと増加しました。新型コロナウイルス感染症による入院患者報告も前週の2例から7例増加しました。基本的な感染対策を心がけ、今後の動向に注意しましょう。

【急性呼吸器感染症】

県内の急性呼吸器感染症の定点当たりの患者報告数は、前週の48.53人から65.91人へと増加し、全ての管内で増加が見られました。急性呼吸器感染症の患者検体からは、RSウイルスが検出されており、今後、同感染症も流行する可能性が考えられます。咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策を心がけ、今後の動向に注意しましょう。

【重症熱性血小板減少症候群(SFTS)】

令和8年9月5日に県内で初めて重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の発生が確認されたことから、宮城県は令和8年9月7日に注意喚起を行いました。SFTSは、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。森林・草地に行く際には肌の露出を少なくするなど、マダニに咬まれないように心がけましょう。

資料: https://www.pref.miyagi.jp/documents/1950/20260907_sfts.pdf

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html
宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課
電話 022-211-3644